

記者発表				
月/日(曜日)	担当部署名	電話番号 (ダイヤルイン)	発表者名 (担当者)	その他配布先
10月10日(木) 14:00	県立考古博物館 埋蔵文化財課	079(437)5595	副館長兼総務部長 川由 伸一 (埋蔵文化財課長 鐵 英記)	淡路県民局

宇山遺跡（洲本市宇山）の発掘調査成果と現地説明会について

内 容

一般国道28号洲本バイパス事業に伴って、兵庫県教育委員会は(公財)兵庫県まちづくり技術センターに委託して、宇山遺跡（うやまいせき）の発掘調査を進めています。調査の結果、平安時代中頃から鎌倉時代にかけての集落跡等が見つかっています。調査成果を広く県民に公開するため、現地説明会を開催します。

【調査成果】

別紙宇山遺跡調査成果の概要のとおり

【現地説明会】

日時：令和元年10月14日(月・祝) 13:30～15:00

場所：宇山遺跡発掘調査現場（洲本市宇山）

〈現地説明会にかかる問い合わせ先〉

宇山遺跡発掘調査現場事務所

担当 山上雅弘技術専門員、西山昌孝臨時的専門職員

TEL 0799-25-2888

(平日 12:10～13:00、17:00～18:00)

〈遺跡の内容にかかる問い合わせ先〉

(公財) 兵庫県まちづくり技術センター

埋蔵文化財調査部調査第2課長 篠宮 正

TEL 079-437-5561 (土・日・祝日を除く)

兵庫県立考古博物館

埋蔵文化財課長 鐵 英記

TEL 079-437-5595 (土・日・祝日を除く)

宇山遺跡調査成果の概要

- 1 遺跡名 宇山遺跡（うやまいせき）
- 2 遺跡の種別 集落遺跡
- 3 遺跡の時代 平安時代中頃～鎌倉時代
- 4 所在地 洲本市宇山
- 5 調査面積 1, 504 m²
- 6 調査期間 7月1日～11月8日（予定）
- 7 調査原因 一般国道28号洲本バイパス事業
- 8 調査主体 兵庫県教育委員会
- 9 調査機関 （公財）兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部
担当 山上雅弘技術専門員、西山昌孝臨時的専門職員

10 調査の概要

- ① 洲本川下流の沖積地において、平安時代中頃から鎌倉時代（約1,000～700 年前）の集落跡が見つかりました。
- ② 検出された遺構は、掘立柱建物 7 棟以上、土壙墓・鍛冶炉・溝などがあります。掘立柱建物の多くは南北の軸をもつもので、計画性が認められます。中には、70 m²を超える比較的大型の建物が含まれ、有力者の住まいと考えられます。
- ③ 出土した遺物は、土師器碗・皿、瓦器碗・皿、黒色土器碗、中国産白磁などがあります。陶磁器のほかに、平安時代中頃の掘立柱建物の柱穴から八稜鏡 1 面が出土しました。鏡は柱穴の抜き取り穴から出土したもので、地鎮のために納められたものと考えられます。

11 まとめ

洲本川下流において、平安時代中頃から鎌倉時代（約1,000～700 年前）に集落が形成されていたことが明らかになりました。集落内には大型の建物があり、当時としては珍重された八稜鏡が出土した点などから、地域の有力者が生活していたことがうかがえます。

参考

※八稜鏡・・・外縁に8つの突出部（稜）をもつ鏡。突出部は花卉を形どったとされ、八花鏡（はっかきょう）とも言う。鏡の背面には龍や鳳凰などが表現されることが多く珍重された。

加西分館「古代鏡展示館」には、唐代（7～8 世紀）の八稜鏡を収蔵している。

宇山遺跡調査写真



1 調査地全景（北から）



2 土壙墓



3 柱穴出土「八稜鏡」